

# ヒントは木陰 パラソルより心地いい

幾何学の立体構造を活用した日よけの公開実験が、京都市中京区の商業施設「新風館」で行われている。日よけ自体が発する熱を抑える構造のため、パラソルなどより涼しく過ごせるといふ。一風変わった外観が来館者の関心を集めている。

## 新風館で公開実験



幾何学の立体構造を活用し、放射熱を抑えた日よけ「シェルピンスキーの森」(京都市中京区・新風館)

# 幾何学立体

# 日よけ涼し

## 京大・積水化学 放射熱を抑制

日よけは広さ約百平方メートル。一辺約二メートルの正方形に近い塩化ビニール製の小片で多数の四面体を作り、各四面体の頂点が接するように組み上げた。十数万個の小片を使用した。光を遮る一方、風通しが良い構造のため小片が冷えやすく、日よけ自体の放射熱もパラソルより弱いといふ。酒井准教授は「木漏れ日に似た光が差し込む点も木陰に似て、涼しげな雰囲気を出す。施工が難しい屋上緑化の代替品としても期待ができ、ヒートアイランド抑制の手法としても期待できる」と話している。

を行っている。

気温三五度程度の晴れた日中で、パラソルの表面温度が六〇〜七〇度になるのに対して、実験中の日よけは四〇〜五〇度にとどまったという。利用者アンケート(五十六人回答)では九割以上が「パラソルより気持ちいい」と答えた。

日よけは、四面体の幾何学構造「シェルピンスキー四面体」にちなんで、「シェルピンスキーの森」と名付けられ、積水化学工業が高機能の日よけとして製品化を目指している。

### 京滋企業の株価

28日

銘柄	終値	前日比	サンコー	28日
東証一部			主簿	419 ▲3
			びわこ	147 ▲5
			部	
			下	
宝来	740	▲15	建	341 ▲14
HL	451	▲88	入	440 ▲102
川島	88	▲2	付	102 ▲710
工	1273	▲14	互	710 ▲1
ケイ	1120	▲0	互	698 ▲2
三	221	▲1		
日新	526	▲2		
	1343	▲44		